

浜松市新・総合計画(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



平成 26 年 8 月から 9 月にかけて実施しました浜松市新・総合計画（案）に対する意見募集（パブリック・コメントの実施）に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等 13 人・4 団体から 89 件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市新・総合計画」を策定し、平成 27 年 4 月からの実施を予定しています。今後とも、総合計画に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ（<http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>）にも掲載しております。

平成 26 年 11 月

浜松市企画調整部企画課

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

T E L 053-457-2241

F A X 053-457-2248

E メールアドレス

kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	平成 26 年 8 月 14 日から平成 26 年 9 月 12 日		
【意見提出者数】	13 人・4 団体		
【提出方法】	持込 (2) 封書 (2) 電子メール (10) F A X (3)		
【意見数内訳】	89 件 (提案 81 件、要望 7 件、質問 1 件)		
【案に対する反映度】	案の修正 12 件	今後の参考 22 件	
	盛り込み済 22 件	その他 33 件	

目次

○全体 (意見数 6 件)	1 ページ
○浜松市総合計画基本構想 浜松市未来ビジョン (案)	
・全体 (意見数 3 件)	2 ページ
・都市の将来像 (意見数 1 件)	3 ページ
・1 ダースの未来 (理想の姿)	
つくる【創る】 (意見数 1 件)	3 ページ
たかめる【高める】 (意見数 2 件)	4 ページ
いかす【活かす】 (意見数 0 件)	
めぐらす【巡らす】 (意見数 0 件)	
つなぐ【繋ぐ】 (意見数 0 件)	
みとめあう【認め合う】 (意見数 2 件)	4 ページ
ささえあう【支え合う】 (意見数 2 件)	5 ページ
はぐくむ【育む】 (意見数 2 件)	6 ページ
みのる【実る】 (意見数 0 件)	
はたらく【働く】 (意見数 0 件)	
かえる【変える】 (意見数 2 件)	7 ページ
むすぶ【結ぶ】 (意見数 0 件)	

○浜松市総合計画基本計画 浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（案）

・全体（意見数 6件）	7 ページ
・未来ビジョン（基本構想）を受けて（意見数 2件）	9 ページ
・都市経営の考え方	
市民協働で高める地域力（意見数 0件）	
未来まで続く持続可能なまち（意見数 1件）	10 ページ
未知の感動を生み出す創造都市（意見数 0件）	
想定外にも対応できる自立・自律したまち（意見数 1件）	11 ページ
世界とツナグ・地域とツナグ（意見数 0件）	
・まちづくりの基本的な考え方（意見数 3件）	11 ページ
・分野別計画	
分野別計画の構成（意見数 0件）	
産業経済（意見数 11件）	12 ページ
子育て・教育（意見数 11件）	14 ページ
安全・安心・快適（意見数 14件）	17 ページ
環境・エネルギー（意見数 1件）	20 ページ
健康・福祉（意見数 10件）	20 ページ
文化・生涯学習（意見数 1件）	23 ページ
地方自治・都市経営（意見数 6件）	23 ページ
・政策体系（意見数 1件）	25 ページ

○全体

<p>提案 1</p>	<p>計画を一読し、基本構想に描かれている浜松市の未来ビジョンは素晴らしいと感じた。これを具現化していくため、小学校・中学校の社会科授業において合計3回ぐらいは取り上げて、児童に学習させることが必要である。</p>
<p>提案 2</p>	<p>計画を一読し、基本構想に描かれている浜松市の未来ビジョンは素晴らしいと感じた。子どもたちに、自分が大人になった時の将来ビジョンを持たせることも必要であり、子ども用の基本構想のパンフレットの作成を検討してほしい。</p>

【市の考え方】今後の参考

基本構想は30年後の理想の姿を記述しています。30年後の本市の主役を担う現在の子どもたちへの周知・普及は重要であると認識しています。新・総合計画の周知方法についてのご提案ですので、確定後、次年度からの事業展開の参考とします。

<p>提案 3</p>	<p>人口減少に伴い、交流人口や定住人口増を望む「都市・地域間競争の激化」により、移住者を増やすことは容易ではないと思われる。「30年後の浜松」に希望を託す計画であり、意味は理解できるが、「将来推計人口」と併せて読むと楽観的な計画に思われる。例えば「働きやすいまち」「子育てしやすいまち」「公共交通の利用しやすいまち」等で、他の市町と異なる明確な浜松の特色を打ち出す施策を取らなければ高齢化率は増え続けるのではないか。</p>
------------------------	---

【市の考え方】今後の参考

「働きやすいまち」については、基本構想の「はたらく【働く】」に、「子育てしやすいまち」については「はぐくむ【育む】」に、「公共交通の利用しやすいまち」については「かえる【変える】」に、盛り込んでおります。ご提案のとおり人口構成の最適化に向けて、特色を打ち出し、若者が集まる都市を目指してまいります。

<p>提案 4</p>	<p>現在静岡県及び浜松市の流出人口が多くなっている中「都市間競争」が激しくなると予測される。これには、単純に人口減少が加速的に進んでしまうということと、企業競争力が落ちてしまうことがある。企業の新卒採用が困難になったり、運営が出来なくなったりするほど従業員不足になることも予想される。クリエイティブとかクリエイターのような言葉が何回か出てくるが、一般の市民が「ワクワク」したり、「ドキドキ」したりできる「街」という観点を取り入れてはどうか。</p>
------------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

魅力ある「街」の観点については、基本構想の「つなぐ【繋ぐ】」に「～『ワクワク感』を得ることができます」などの理念を盛り込んでいます。

<p>提案 5</p>	<p>人口減少・少子高齢社会、地方創生などの国家戦略に伴い、厳しい都市間競争に勝ち残るには明確な都市ビジョンと戦略・政策が不可欠である。基本構想・計画ともに抽象的でどんな都市をめざしているのかが不明瞭</p>
------------------------	--

	なため、静岡市総合計画のように重要度・優先順位などを含めた、市民にわかりやすい内容に見直す必要がある。
提案 6	基本政策内の重点配分（優先順位）がよく分からない。全てを同格と捉えると人口減少社会の中でとても実現可能とは思えない。時代の変化に応じて見直しも必要になると考えるが、その場合の考え方はどうかということが気になる。本当に実現が望める項目が明確になるようにすべきである。

【市の考え方】その他

政策・事業の優先順位付けは重要です。新・総合計画は、基本構想が30年、基本計画が10年という長期計画としました。このため、今後の市政運営が硬直化することのないよう、基本計画の段階では重要度・優先順位付けについては行わず、実施計画レベルの戦略計画などで社会情勢の変化を考慮しながら、明確にしていまいります。

○浜松市総合計画基本構想 浜松市未来ビジョン（案）

・全体

提案 7	「都市の将来像」及び「1 ダースの未来（理想の姿）」いずれを問わず、30年後の姿を描いた記述と現在進行中の姿の記述が混在しており、読みにくく分かりにくくなっています。文書整理して、30年後の姿の部分は□で囲む、ゴシック体で表記するなどして明確化した方が良いでしょう。
-------------	---

【市の考え方】その他

基本構想は、すべて30年後の理想の姿を記載しています。このため、30年後の状態を現在形で記載し、比較が必要な場合のみ、現状（平成26年度）を過去形で記載しています。再度、記載内容の精査を行い、分かりやすく表現します。

提案 8	1 ダースにこだわったせいか、項目区分が不相当と思われるものがある。例えば、「創る」では産業と文化の理想の姿が合わせて示されているが内容の大半は産業である。一方、「繋ぐ」では、市政のキーワードとしては不十分な内容となっている。文化を「創る」に無理に入れるより、「繋ぐ」に組み入れ内容充実を図る一方、全体的に方針が不十分な商業・商店街の活性化を「創る」に加えた方が適切かつ正確である。
-------------	---

【市の考え方】その他

「都市の将来像」の中で、基本構想の上位概念として「創造都市」を掲げています。ここで、「地域固有の文化や資源を活かした創造的な活動が活発に行われ、新しい価値や文化、産業が次々と創出され、私たちの暮らしの質を高め」る都市として、文化やまちなかの理想の姿を重点的に表現しています。一方で「1 ダースの未来」の「つくる【創る】」では、産業と文化による発展を、「つなぐ【繋ぐ】」では、都市部と中山間地域の連携を表現しており、現状の記述とします。

提案 9	未来ビジョンを実現するには、「現状における課題認識」と、「課題解決のための政策」及び「成果目標」が必要である。基本構想が未来完了形で書かれているためか、これらの重要な記述が欠けている。見直しが必要ではないか。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

新・総合計画の策定に当たっては、まず、「未来の理想の姿」を定め、それに向かって、今、何をすべきかを定める「バックキャストिंग」という手法を用いています。現状認識・課題分析を行い、そこから政策を立案する「フォアキャストिंग」とは逆の手法を用いているため、ご提案の「現状における課題認識」や「課題解決のための政策」について記載をしていません。また、「成果目標」については、今後設定をし、参考資料として記述してまいります。

・都市の将来像

提案 10	「小さな歯車が重なって大きな‘こと’を動かす【市民協働】」の項目について。浜松市は、文化・芸術・自然のめぐみ、伝統、気候、食生活等、大変恵まれた資源が揃っているが、これらを動かす環境ができていない。その大きな要因として考えられることは、合併した各地域の心がまだ十分に通い合っていないことである。これなくして大きなまちづくりはできない。まず、お互いの良さを認め、尊敬する心を持つべきである。また、小さな歯車なくしては、未来ビジョンは成立しない。それはつまり、各分野において女性の進出を認め、能力を信用するということである。これについては、浜松市全体が殆ど手付かずの状態である。例えば各自治会等は旧態依然として男性中心の社会である。女性を育て能力を十分使いきる社会を誕生させることが、1ダースの未来をつくる近道になるのではないか。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

女性の社会進出の促進は重要な施策です。当該項目の冒頭に、「浜松を創造する人財は、老若男女すべての市民です。日々の生活を送る上で、対等な立場で支え合い、市民主体によるまちづくりを進めています」と記述しており、市民の一体感の醸成や女性の社会進出の推進を表現しています。

・1ダースの未来（理想の姿）

つくる【創る】

提案 11	「森林の枝払い」について、「枝打ち」や「間伐の体験」に変更した方が良いのではないか。
------------------	--

【市の考え方】 案の修正

ご指摘の表現が、より適切であると判断し、記述を次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

「大自然の恵みを体感できる中山間地域では、農作物の収穫、蕎麦打ち、森林の枝払いなどをはじめとした体験型の観光が人気です。」

(修正後)

「大自然の恵みを体感できる中山間地域では、農作物の収穫、蕎麦打ち、森林での間伐などをはじめとした体験型の観光が人気です。」

たかめる【高める】

提案 12	「Tenryu-zai」について、「天竜材」に変更した方が良いのではないかと。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

「天竜材」ではなく「Tenryu-zai」としたのは、国内での流通のみを目指すのではなく、同ページ内に記述があるとおり「世界に通用するブランド」とすることを未来の理想の姿としています。このため、漢字表記ではなく、ローマ字表記としています。

提案 13	農業分野について、効率的な環境の中でつくられることや高品質であることが強みとして表現されているが、その他に「安全な農産物」であることを付け加えてはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

「安全」の観点が、農林水産物すべてに入るよう、冒頭の記述を次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

「浜松の農林水産業は、三方原を中心に広がる農地、浜名湖や遠州灘の水産資源、北遠地域に広がる森林など、多様な自然環境を最大限に活用し、特色ある産品が豊富に存在し、全国的にも高い産出額を誇っています。」

(修正後)

「浜松の農林水産業は、三方原を中心に広がる農地、浜名湖や遠州灘の水産資源、北遠地域に広がる森林など、多様な自然環境を最大限に活用し、安全で特色ある産品が豊富に存在し、全国的にも高い産出額を誇っています。」

みとめあう【認め合う】

提案 14	「外国人」とは誰を指すのか？ 外国籍だけでなく、日本国籍だけれど日本語ができない方や、国際結婚によるダブルの国籍の子どもも増えている。「外国人＝外国籍」だけでなく、そういった「外国にルーツを持つ人」も浜松の多様性を創り出す人材として捉え、含めてはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】 案の修正

外国籍の人だけでなく「外国にルーツを持つ人」についても対象とした項目であることが分かるよう、冒頭の記述を次のように修正します。

《修正内容》

（修正前）

「浜松は、外国人が多く居住する『外国人集住先進都市』であり、海外の文化と共生する術が身についています。」

（修正後）

「浜松は、外国籍の人や外国にルーツを持つ人が多く居住する『外国人集住先進都市』であり、海外の文化と共生する術が身についています。」

提案 15	「母国語」を「母語」または「多言語」に変更してはどうか。母国語は母国の公用語のことを指すけれども、子どもの言語発達に大切なのは「母語」。ここでの母国語は母語、または多言語の方が適切である。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

文中の外国人の子どもにとって、母語が日本語の場合もありますので、「母語」では策定の意図が十分に伝わりきらない場合もあります。このため、冒頭の記述を次のように修正します。

《修正内容》

（修正前）

「小中学校では、外国人の子どもに対しても、母国語による情報提供が行われています。コミュニケーション上の支援として、日本語や日本の生活習慣を習得する機会の提供、母国語の言語支援など、新しい外国人の受け入れ体制も充実しています。」

（修正後）

「小中学校では、外国人の子どもに対しても、多言語による情報提供が行われています。コミュニケーション上の支援として、日本語や日本の生活習慣を習得する機会の提供、多言語による支援など、新しい外国人の受け入れ体制も充実しています。」

ささえあう【支え合う】

要望 1	「安心で選ばれる。安全だから選ばれる」という表現は不適切というより誤りではないか。安全・安心は「選ばれる」ために行うものではない。まさに命や生活の維持・確保の基盤である。より適切な表現への修正を要望する。
----------------	--

【市の考え方】その他

安全・安心は「選ばれる」ために行うものではなく、生活に欠かせない重要な考え方です。「ささえあう【支え合う】」では、医療体制は「我が国の手本」となって

いることを 30 年後の理想の姿として掲げています。全国でもトップクラスの安全・安心を提供する意気込みとして表現しており、現状の記述とします。

提案 16	「防潮堤は、ジョギングやウォーキングにも活用され、多くの市民に愛されています。」について、「愛される」という表現はいかがなものか。「～多くの市民の憩いの場として親しまれています。」としてはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご指摘の表現が、より適切であると判断し、次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

「市民の安全と安心を守る遠州灘海岸の防潮堤は、ジョギングやウォーキングにも活用され、多くの市民に愛されています。」

(修正後)

「市民の安全と安心を守る遠州灘海岸の防潮堤は、ジョギングやウォーキングにも活用され、多くの市民の憩いの場として親しまれています。」

はぐくむ【育む】

提案 17	「時間に余裕のある人たちが子育てのサポートに関わるために、保険や補償も含めた『仕組みづくり』が出来上がって、『預かる側も預ける側も安心できる』地域のシェア体制が整う」という主旨の文章の加筆が必要ではないか。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

ご提案の点については、冒頭に「子育ての苦労も楽しみも地域でシェアしています」と記載するなど、地域での協力体制が構築されていることを 30 年後の理想の姿として記述しています。

提案 18	「育児休暇の取得は当たり前」の部分について、「男女を問わず、育児休暇の取得は当たり前」と加筆してはどうか。子育てをするのは女性だけではない。男性も子育てに参加するという視点をぜひ入れてはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

ご指摘の表現が、より適切であると判断し、次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

「勤め先では、育児休暇の取得は当たり前になっており、社会全体で子育てを重視した働き方を推進しています。」

(修正後)

「勤め先では、男女を問わず育児休暇の取得は当たり前になっており、社会全体で子育てを重視した働き方を推進しています。」

かえる【変える】

提案 19	コンパクトシティを表現した章だと思うが、「都市だってスリムになりたい」というキャッチコピーや登場する言葉が「空き地の減少」、「農地の集約」であるため、居住地域に地域菜園・都市農園さえもイメージできない潤いのない都市空間像が浮かんでしまう。もう少し豊かな生活をイメージできるものにならないだろうか。都市農地が食育に貢献する役割や、防災や環境保全機能、その維持管理の担い手である市民力についても描いてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

「かえる【変える】」では、コンパクトシティをはじめとした、広大な市域の活用のあり方、拠点と拠点をつなぐ公共交通のあり方などについて、30年後の理想の姿を重点的に描いています。空き家や空き地の有効活用を図るほか、居住エリアと農地エリアとの明確化などにより人口密度を高めていく理想の姿としています。都市農園などの具体的な土地の活用方法については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

提案 20	三方原地域では、企業進出により、一層の交通渋滞が予測される。環境、交通弱者にも優しく便利さ、快適さ、大量輸送可能な交通手段の推進が不可欠である。「浜松に未来都市の交通システムを実現させる」と市民が納得し賛同する、人と公共交通、次に車の交通政策を推進し実現してほしい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

「かえる【変える】」では、「地域や企業などが所有する乗り物をシェアし、乗り合いながら利用しているため、渋滞は緩和されています」、「安全性能が高く、環境への負荷が少ない乗り物がほとんど」と記述しています。技術の進歩により、交通弱者という概念がなくなっている世の中を理想の姿としており、大量輸送可能な交通システムについては、必要性を含めて検討してまいります。

○浜松市総合計画基本計画 浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（案）

・全体

提案 21	第2次総合計画（平成23年度～26年度）の総括・評価を補足・付加すべきではないか。前総合計画の達成度等は今後あらゆるレベルで議論されるわけで本格的な総括は不要だが、前総合計画との比較における継続性や発展性を明記することが必要である。 とくに「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」をそのまま継承した理由説明として、「新・総合計画策定方針（パブリック・コメン
-----------------	--

	ト対象外)」2ページには、「市民の皆様や民間企業との協働による長期にわたる活動が必要であり」と記されているが、第1次推進プランでも詳細に冒頭部分に記述する必要がある。
--	---

【市の考え方】盛り込み済

総合計画の進行管理については、戦略計画を毎年度策定するとともに、「政策・事業シート」を作成し、すべての事業についてPDCAサイクルにより管理しています。また、第2次総合計画の総括・評価については、「新・総合計画策定方針」に「中間評価」を記述しています。さらに、市民協働については、基本計画の「2 都市経営の考え方」の「① 市民協働で高める地域力」として、その重要性を記述しています。

質問 1	「新・総合計画策定方針（パブリック・コメント未実施）」2ページには、区別計画を策定しない方針となっている。平成21年12月の「本庁・区役所の役割分担の基本的な考え方」の第4章6-（1）-②（24ページ）には「新都市経営戦略の中に区別計画を定めます」とされている。この方針を変えるとの解釈で良いか。 その場合、区政方針を現状の年度方針だけでなく中期計画を盛り込んだものにグレードアップすると解釈してよいか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

ご質問の「新都市経営戦略」は、第2次浜松市総合計画基本計画のことであり、その第6章に区別計画を定めました。市政運営の最上位計画である総合計画の変更に合わせて、「本庁・区役所の役割分担の基本的な考え方」をはじめとした個別計画などの考え方とは、整合をとることとなります。合併から10年が経ち、市民は、広大な市域にあっても、地域の特色を身近に感じ、同じ浜松市として受け止めていると考えています。また、ごみ収集方法の統一化など、一市多制度として進めてきた合併後の措置も終了を迎え、ひとつの浜松としての基盤は整いつつあります。このため、新・総合計画では、一つの都市の目指すべき未来の理想の姿を定めるものとし、区役所運営のあり方については、中・長期ビジョンは策定せず、区ごとに毎年定める区政運営方針等に対応してまいります。

提案 22	総花的で理想的であるが、絵に描いた餅のように見える。実現可能性の高いものと非常に低いものが混在しているようである。もう少し堅実な中身を見せてほしい。
提案 23	基本計画が総花的・抽象的な内容となっているので、重点施策を明記したうえで、それに対する具体的な政策・施策、成果目標等を示すべきではないか。

【市の考え方】その他

新・総合計画は、市政運営上の最上位計画に位置付けられるものです。あらゆる分野を網羅的に掲載する必要があるため、総花的になる点につきましては、本計画の性質であり、特徴であると考えます。また、実現可能性については、10年間の

計画期間であることから、既の実施している施策と、10年後の実現を目指して記述している施策があります。どれも、計画期間の10年の間には実現するよう、最大限の努力をします。また、今後の社会情勢の変化などを考慮し、市政運営が硬直化することのないよう、基本計画段階では事業の重要度・優先順位付けについては行わず、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

提案 24	「分野別計画」と「政策体系」との対応関係がところどころ分りにくい。政策体系には「分野を構成するすべての政策を掲載しています」とあるので、分野別計画の内容が政策体系にも網羅されていると理解するが、表現が変わることで抜け落ちた印象になる項目もある。
-----------------	--

【市の考え方】その他

分野別計画は、基本構想に掲げた理想の姿を実現するために必要な主な政策を記述しています。一方で、政策体系には、分野を構成するすべての政策を記述しています。

提案 25	<p>新・総合計画には「都市・交通」という基本的な分野が欠落している。「人の移動」は「物流」以上に重要な問題であり、高齢化に伴うユニバーサル社会への対応や観光産業の振興等々から、30年先を見据えたビジョンと具体的政策が必要である。以下に掲げた課題と対策を含め、「都市・交通」分野を追記すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜松市の人口10万人当たり人身事故件数は、全国政令指定都市中ワースト1。 ・浜松市の公共交通分担率は、全国政令指定都市中ワースト1。 ・バス利用客（年間）は約30年前の最盛期と比べ、4,500万人も減少。 ・大手企業の進出に伴う浜松北地域の渋滞対策とLRT等新交通システムの導入。 ・10年・30年後の浜松駅バスターミナル（完成後32年経過）はどうあるべきか
-----------------	--

【市の考え方】その他

ご提案の、「都市・交通」や「人の移動」については、基本構想において、「かえる【変える】」という項目により、理想の姿を記述しました。また、基本計画では、「まちづくりの基本的な考え方」の項目で、拠点ネットワーク型の都市構造とする将来像を示しています。具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

・未来ビジョン（基本構想）を受けて

提案 26	「1ダースの未来」について、もう少し一般の人がわかりやすい表現に変更した方が良くはないか。
-----------------	---

【市の考え方】案の修正

分かりやすくなるよう、記述を次のように修正し、明記していきます。

《修正内容》

(修正前)

「未来ビジョンでは、世代を通じて共感できる『未来』を創造するために、一世代(=30年)先を未来の理想の姿として、『都市の将来像』と『1ダースの未来』を定めました。」

(修正後)

「未来ビジョンでは、世代を通じて共感できる『未来』を創造するために、一世代(=30年)先を未来の理想の姿として、『都市の将来像』と『1ダースの未来(理想の姿)』を定めました。」

提案 27	23 ページの記述後半部分に、「…事業実施の核となる戦略計画を毎年度作成し、計画的な進捗管理を進めます。」とあるが、戦略計画は基本計画の中で明確に示すべきではないか。それにより毎年度の計画的な進捗管理が可能になる。
------------------	---

【市の考え方】 その他

基本計画では、戦略計画を核としたPDCAサイクルによる進行管理を行う旨について記述しています。戦略計画は、社会情勢の変化などを考慮し、柔軟性を持ちながら毎年策定します。

・ 都市経営の考え方

未来まで続く持続可能なまち

提案 28	「新・総合計画策定方針(パブリック・コメント未実施)」、「未来ビジョン」及び「第1次推進プラン」をとおして、人口減少を大前提というより人口減少に「依存」した組み立てが行われており、全体として政策展開の消極性を感じたが、本項目において出生率の向上等の方針が示された点は評価できる。 しかし、内容は「人口構成の最適化」となっており、「総人口を増やす」あるいは「減少幅を圧縮する」等のより積極的な方針を提起すべきではないか(人口推計は無視できないが、市町村別推計は母数が少ないことや地域間移動の推計技術が未成熟であることから正確度は低いとも言われている)。
------------------	--

【市の考え方】 その他

人口減少が全国的なトレンドである中、持続可能な都市経営モデルを標榜する本計画において、人口減少に目を背けることなく、人口構成の最適化により、持続可能なまちづくりを進めていくことが、現実的な課題解決の手法であると考えます。

想定外にも対応できる自立・自律したまち

提案 29	想定外が予想できるのであれば、「想定外」とは言わないのではないかと。「災害」や「有事」という言葉で十分意図は伝わるのではないかと。
-----------------	---

【市の考え方】その他

「想定外」には、いつか訪れると予測されいながら、到来の時期が予測できない事象と、予測不能の事象が起こる可能性の2つの意味を込めています。このため、ご提案のとおり、「想定外が予想」できているわけではなく、考えも及ばない時期に考えも及ばない事象が発生しても、対応できるまちづくりに取り組む姿勢として記述しています。

・まちづくりの基本的な考え方

提案 30	「中山間地域においては、田舎暮らしを推進するとともに、交通ネットワークの強化によって都市部との交流を促進します。」について、交通ネットワーク強化の具体的な方策を示してほしい。
-----------------	---

【市の考え方】その他

基本計画では「コンパクトでメリハリの効いたまちづくり」という全体的な方向性を提示しました。具体的な施策及び事業については、毎年策定する戦略計画や個別計画などで明確にしていまいります。

提案 31	「人口密度にメリハリをつけた拠点ネットワーク型都市構造」の部分で「小規模多機能自治地域を拠点としたネットワーク型都市」にしてはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご提案の「小規模多機能自治地域」という表現につきましては、基本計画で示したまちづくりのイメージを表現していると考えます。しかし、「小規模」とはどの程度の規模と定義するのか、「多機能」とはどの程度の機能が集積していることとして定義するのか、「自治」の権能がどの程度のものであるのか、議論が必要と考えます。また、それらの議論は「まちづくりの基本的な考え方」の範疇を越え、具体的なまちづくりの考え方でもありますので、今後、まちづくりに関する個別計画などで議論し、明確にしていまいります。

要望 2	副都心について、第1次総合計画では浜北副都心計画が明記され（平成19年3月）、それを受け、平成21年3月に「浜北副都心検討会議」から冊子「浜北副都心構想」が出された。第1次総合計画から既に8年経過しており、現状を踏まえ、10年後や30年後の副都心の姿を明記するよう要望する。
----------------	---

【市の考え方】その他

浜北副都心構想については個別計画で考え方、施策、事業などを示していま

す。

・分野別計画

産業経済

提案 32	森林認証（FSC）材についての記述を加えてほしい。また、国産材・天竜材の使用について、市の補助制度の更なる充実について書き加えてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

基本計画では、林業振興の施策の方向性を提示していますので、具体的な事業などについては、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

要望 3	商業や商店街の記述が薄いというより無いに等しいことは問題である。ものづくりの観点から、製造業や農林水産業が重要なことは言うまでもないが、商業の繁栄・活性化も不可欠であり、商店街発展は「まちなか活性化」や「安全・安心」とも連結する。追加を要望する。
提案 33	市民全体は、いろいろな年齢のいろいろな思考の方がいるが、特に新しい時代、今までと全く違う価値観を持った若者が新しい浜松市を創っていくと考える。その若者が魅力的に感じる街とは何なのか？ 基本計画の中でもう少し、若者に焦点を当てた言葉が欲しいと感じた。今若者は、デートも郊外のショッピングセンターだったり、おしゃれな洋服は静岡市や名古屋、東京まで出かけたりしていると聞く。また、出身が浜松市以外の方は、会社の帰りがけによるところもない！ といった人もいる。安心、安全も非常に大切だが、「何か楽しい街」「つつい寄ってしまう場所」等、付加価値がついた場所を作っていくということに繋がる内容があるともっと楽しい未来の浜松市が感じられると思う。

【市の考え方】 盛り込み済

「商業の繁栄・活性化」や「商店街発展」については、民間の事業者が主役です。このため、基本計画では、行政の役割として、店舗同士が切磋琢磨できる環境づくりや、支援の取り組みを記述しています。

提案 34	森林の荒廃・耕作放棄地と離農者の増加、高齢化・後継者不足の農・林・漁業の現状把握が希薄と思われる。一次産業従事者を増やす方策を早急に取らないと明るい農・林・漁業はないのではないかと懸念する。
-----------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

ご提案の一次産業の担い手確保については、重要な施策であると認識しています。現在も事業を展開しているため、分野別計画へは、新機軸として、一次産業の業務内容の改善を中心に記述しました。また、「政策体系」へは「担い手の確保」を記述しており、今後も着実に実施していくことを表現しています。

提案 35	産業経済と環境が縦割りになっていることが気になる。多様な産業の発展は望ましいが、経済活動による環境負荷は最小限に抑えるべきである。これを担保するために「環境に配慮して」の文言を加筆するべきではないか。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

環境への配慮は、個人のみでなく、企業においても着実に意識は高まっています。基本計画では、地元企業に寄り添い、産業を振興する考え方を産業経済分野に、また、企業への啓発により環境に配慮した取り組みを推進する考え方を環境・エネルギー分野に記述しています。

提案 36	子育てについての政策はあると思うが、ママさんたち自身ももっと楽しむことができる街になる政策が欲しいと考える。日々の活動の中で感じるのは、生活のために就業も非常に重要でもあるが、ママは、母親であると同時に女性だということである。この辺のことは、計画の中に入っていると思うが、ママたちが、女性として楽しむことができる街の観点での政策があまり見受けられない。自分自身の自己研鑽的なこと、自己実現、社会との関係作り、女性としての魅力アップなどいろいろなことに関心が高いと感じている。そのママたちが、子育てだけではなく、自分自身の楽しみができる街というのは、浜松での生活が魅力的に感じると思う。この点を踏まえた政策を加えていただければと思う。
-----------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

ご提案の女性が楽しめるまちづくりや女性の活躍促進は、地域創生や人口減少への対応のために大変重要です。このため、産業経済分野では、社会進出をサポートする方向性を、子育て・教育分野では、地域ぐるみで子育てをサポートする方向性を、地方自治・都市経営分野では、社会で活躍できる環境づくりを、分野別計画に記述しています。

提案 37	中心市街地活性化策として、5年以内に JR 浜松駅南口の混雑、交通渋滞改善を行う。具体的には、JR 浜松駅南口のタクシー停車場を廃止し、巡回乗降のみとする。タクシーの停車場は駅北側のみとする。 遠鉄百貨店南側のバス乗降場を移転するとともに、現在の一方通行から西方面への通行を可能とする。 バス乗降場の移転先は現在の JR 浜松駅南口またはその他の場所とし、整備予定の駅南地下駐車場の出入りの便を良くし、利用者の増加を促す。
提案 38	中心市街地活性化策として、5年以内に旧松菱跡の再生を行う。具体的には、市内大手企業の本社ビルの建設誘致を行う。関連会社の入居も効果として見込まれ、駅周辺の持続的な活性化が期待できる。当面は、土日や夜に屋台の出る小公園として活用する。 また、10年以内に近隣の中小商店を集積し、商業総合ビルを建設し、浜松駅北口の混雑を改善する。さらに、送迎レーンの増加を行い、利便性の向上と、災害時の避難を円滑にするためのオープンスペースの拡

	大を図る。
提案 39	中心市街地活性化策として、5年以内に浜松城公園の樹木、植栽等の整備改良を行い、散策を一層楽しめるようにする。
提案 40	中心市街地活性化策として、5年以内に新美術館を旧体育館跡地に建設する。大通りに面しているため、観光客等の入館も期待ができ、高齢の人や障がいのある人にとっても利用しやすい。また、現在の美術館に文芸館を移転し、資料館として松韻亭と併せて、浜松城公園の価値観を一層高める。
提案 41	中心市街地活性化策として、5年以内に万年橋から鍛冶町の間には新川を再現し、鯉を放流するとともに、遊歩道をつくり、夏の涼を楽しむことができる昔のような情緒ある街とする。

【市の考え方】 今後の参考

まちなか（中心市街地）の活性化は、大変重要な課題です。基本構想では30年後の理想の姿を、創造都市・浜松の顔となる状態として記述しています。ご提案については、毎年策定する戦略計画や個別計画を定める上での参考とします。

子育て・教育

提案 42	十分な義務教育を受ける環境に置かれなかった、外国にルーツをもつ子どもたち・若者や「できない」と見られがちな障がいのある子どもたち・若者の可能性を引き出すため、行政・民間双方の多様な担い手による「育ちを応援するプログラム」を進めてほしい。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

子どもたちの可能性を最大限に引き出すため、基本計画では、子どもの育ちを支え、若者の自立を応援するまちづくりに向けた施策の方向性を提示しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしています。

提案 43	浜松市で起こる殺人事件や防犯、いじめ、暴走族などの事件がニュースやドキュメンタリー番組等で 悪い意味で全国的にも目立ってしまっている感がある。このような警察が関係しそうな問題を、実際に警察が介入するのは別に、行政或いは市民レベルで低減できないものかと考える。殆どの施策が、施設の充実や機関の体制づくりに充てられている。もう少し草の根レベルで、例えば 近所の人々が集まって何かをする、といったところで市民等の協働でどうするか、という点も施策として挙げるべきではないか。上記のような事件について多くの市民が無関心な感じだったり、自分は無関係だと言わんばかりにごみのポイ捨て、爆音で走り回る若者などをよく見かけるのが気になる。「割れ窓」理論などというものがあるように、関係する講座を開くなど市民レベルで関心を持ってもらい、各地域で、各学校のクラスなどで、小さな問題でも見逃さず小さな単位で組織し改善活動を行えるよう、何らかの様々な手段で啓蒙
------------------	---

	活動を行っていくのはどうか。市民全員が無関心ということはないと思うので、やれる人から活動が広がっていくのではないかと。また一方で、条例制定や行政指導など厳しい姿勢で当たるのも大切なことだと思うが、そのような単語などが記載されていないのも気になる。例えばタバコのポイ捨ては既に罰則規定を導入している市もあり、自動車・オートバイの改造マフラーの騒音に罰則を採り入れたり、通報制度などを採り入れたりするのも良いのではと考える。特に浜松市は自動車・オートバイの生産地でもあり、他の地域の模範となれるようより積極的な活動をするのはどうか。
--	--

【市の考え方】 今後の参考

基本計画では、施策の方向性を提示しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

提案 44	人づくりに関わる現場と言えれば学校である。教員側に対してのみ授業改善や研修を課すのではなく、事務作業に追われ残業を余儀なくされている教員が本来活動に専念できるよう、教育現場環境の改善がなされるような内容を付け加えてほしい。
--------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

基本計画では、学校、家庭、地域が目指す子どもの姿を共有し、特色ある人づくりに取り組む旨を記述しています。学校現場だけに負担を強いることなく、地域が一体となって教育に取り組む姿勢を示しています。

提案 45	人財を一番の誇りとする浜松なればこそ、解決を急ぎたいこととして、「教育の現場における指導者の不足」がある。特に大切な幼児教育（幼稚園）での教員不足は大変なものがある。教育に関しては、特に策定委員の人たちに、幼稚園・小学校・中学校の現場を見ていただきたい。
--------------	---

【市の考え方】 その他

未来デザイン会議では、教育の現場を熟知する有識者委員にメンバーとして積極的な意見をいただいています。また、ご要望の最適な幼児教育については、戦略計画や個別計画で検討します。

提案 46	ひとづくりの大前提に「男女共同参画」がなければならない。男女共同参画社会は、21世紀の我が国の最重要課題であるとされているにも拘わらず、本市においても殆ど実現できていない現状である。実現するまでは不断の取り組みとして推進する必要がある。そこで、基本政策「市民協働による未来創造へのひとづくり」の中に、「一人ひとりが豊かな人生を送れるように、男女共同参画社会を醸成します」と加えてはどうか。
提案 47	グローバル社会に対応する力を伸ばすためには、英語教育や国際理解教育だけでは足りない。日本が国際的に劣位に評価される点にジェンダーバランスがある（日本はジェンダーギャップ指数が136カ国中105位と男女格差の強い国とされている。）。これには社会構造の問題もあるが、

	人々の意識の問題が大きく起因する。そこで、「英語教育や国際理解教育を充実することにより～」について、「英語教育や国際理解教育及び男女共同参画意識の醸成を充実することにより～」と加筆してはどうか。
提案 48	未来ビジョンでも感じたが、30年後のみならず、10年後の女性の地位の飛躍的向上を図る方針がない。子育ての分野には出てくるが、それだけでなく、女性の職場や地域への参加・進出は、ワーク・ライフ・バランスをはじめ社会の全領域のあり方を根本的に改善するための決定的な課題として位置づける必要がある。分野別計画「②子育て・教育」に付加するか、あるいは1項目新設し、現状・課題・方向・女性の将来像を明示することを提案する。

【市の考え方】盛り込み済

男女共同参画社会の醸成については、非常に重要なテーマです。このため、地方自治・都市経営分野に、「男性も子育て・介護などに主体的に関わることで、育児休業・介護休業の取得率を上昇させます」、「自治会、自主防災活動などに女性が幹部として参画するよう働きかけることで、地域での女性の活躍を推進します」、「企業がワーク・ライフ・バランスの重要性を認識し、個々の企業の実情に合った自主的な取り組みを行うための環境づくりを支援します」など、男女共同参画について盛り込んでいます。

提案 49	英語教育のみならず、「多言語教育」や「多文化教育」を盛り込んでほしい。グローバル社会には、今や英語だけでなく、他の言語ができることが大きな強みとなる。多民族が暮らす浜松市はその潜在力を既に持っており、英語教育だけでなく、彼らの母語・母文化を活かす教育に力を入れることが、浜松市の強みとなりうる。
--------------	---

【市の考え方】盛り込み済

多言語教育や多文化教育については、多文化共生を標榜する本市にとって合致する事業です。このため、地方自治・都市経営分野に、「多くの外国人市民が地域づくりやまちづくりに参画し、活躍できる環境を整えます」など、多文化共生についての視点を盛り込んでいます。

提案 50	教育格差の解消に「スクールソーシャルワーカーの活用」を入れてほしい。6人に1人の子どもが「貧困」と言われる時代。児童虐待を防ぎ、子どもが安心して学び、育つことができる環境づくりのために、福祉面も含めたサポートが必要。
--------------	--

【市の考え方】その他

スクールソーシャルワーカーの具体的な活用については、毎年策定する戦略計画で明確にしていまいります。

提案	食育基本法において、生きるための基本的に知識であり、知識の教育、道徳教育、体育教育の基礎となるべきもの、と位置づけられているので、
-----------	---

51	大切な「食育」を入れてほしい。
提案 52	情報教育、環境教育に加え、「食育」を加えてほしい。健康、生きる力、地域社会とのつながりを知識と身体でつなぎ、実践する教育として、ひとづくりの中に含めてほしい。浜松市の農業を支える力にもなる。

【市の考え方】その他

食育について、産業経済分野では、地産地消の考えを学校教育に取り入れる方向性を、子育て・教育分野では望ましい生活習慣をはぐくむ方向性を記述しています。このほか、具体的な食育の取り組みについては、毎年策定する戦略計画で明確にしてまいります。

安全・安心・快適

提案 53	基本構想に描かれている浜松市の未来ビジョンは素晴らしいと感じた。また、「第1次推進プラン」も素晴らしいが、現在、既に推進されている「浜松市総合交通計画」、「浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」等との関係をしっかりと調整した方が、更にわかりやすいものとなるのではないか。
----------	--

【市の考え方】その他

新・総合計画は、「浜松市総合交通計画」、「浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」などの個別計画の上位計画に位置づけられるものです。このため、策定段階で所管部局とも調整を行っています。

提案 54	「空き家・空き地の有効活用」との記載があるが、「都市農園など」と、具体的な活用方法を記載してはどうか。
提案 55	都市農地保全については、緑地保全のみならず、食の安全についての意識向上、防災対応機能など、その役割は大きい。また、Vertical Farming（垂直農法）という手法を使えば津波を懸念する沿岸部の資源活用さえ可能となる。さらに人口問題への対応、生産・流通・消費サイクルの向上、天候対応性、省資源化、有機農法、動物・自然生態系への影響が減少、農業従事者の環境改善（⇒福祉と農業の両立）、都市・自然双方の環境向上、エネルギー生産のメリットがあるとされている。「都市農園」をキーワードとして基本政策の適切な箇所に盛り込んではどうか。

【市の考え方】今後の参考

基本計画では施策の方向性を提示しています。ご提案の垂直農法、都市農園など、実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで検討してまいります。

提案	「消費生活相談窓口・地域の見守りネットワークの強化、情報の活用基盤の整備を図り、消費生活の安心・安全を推進します」について、「安全・
----	--

56	「安心」が適切ではないか。安全があつて安心が得られるため、順序は大切である。
----	--

【市の考え方】案の修正

ご指摘の表現が、より適切であると判断し、次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

「消費生活相談窓口・地域の見守りネットワークの強化、情報の活用基盤の整備を図り、消費生活の安心・安全を推進します。」

(修正後)

「消費生活相談窓口・地域の見守りネットワークの強化、情報の活用基盤の整備を図り、消費生活の安全・安心を推進します。」

提案 57	ユニバーサルデザインというキーワードは道路で使われているが、ソフト面でも意味するよう、都市づくり全般でも使うべきではないか。 「～都心を含めたエリアへの居住を推進することで <u>ユニバーサルデザインに配慮した集約型の都市づくり</u> を目指します」と加筆してはどうか。
提案 58	ユニバーサルデザインというキーワードは道路で使われているが、ソフト面でも意味するよう、都市づくり全般でも使うべきではないか。 「市営住宅については、多様な入居者のための <u>ユニバーサルデザインの配慮を進め、定期的な～</u> 」と加筆してはどうか。

【市の考え方】盛り込み済

ユニバーサルデザインの視点については、行政運営全般に必要な視点です。このため、地方自治・都市経営分野に「市民の様々な特性や生活習慣の違いなど、多様性の理解を進めることで心のユニバーサルデザインが実践される社会を築きます」、
「交通や道路、施設、情報などのユニバーサルデザイン化を促進し、多様な人々が社会参加しやすくなるように環境づくりを進めます」など、ハード面に限らないユニバーサルデザインの普及について盛り込んでいます。

提案 59	コンパクトなまちづくりを進めながら、増大する高齢者（運転免許返納者）の交通アクセスの向上が必要である。就労年数が上がり、高齢者の日常の買い物や通院の送迎をする家族はほとんどいなくなると考えられる。高齢者の日常生活に困らない公共交通の確保が必要である。
提案 60	運転免許を持っていない方や返納した方にとっての移動手段であるバスは、路線の廃止、本数の減少が進み、高齢者の足を奪っている。他県にあるようなお年寄りが乗り合いで買い物や病院に行くことができるようなサービスも必要ではないか。

【市の考え方】盛り込み済

高齢の人のための移動手段の確保は重要です。このため、「まちづくりの基本的

な考え方」に、交通ネットワークの強化と記述し、公共交通を含めた移動利便性の向上の視点を盛り込んでいます。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にまいります。

提案 61	浜松市は天災も少なく、海、山、川と平地も多く、気候も温暖であり、日本一の住環境であるから、より一層のインフラ整備を行い、人口の流出を防ぎ、百万都市を目指すべきである。
------------------	---

【市の考え方】その他

本格的な人口減少社会が到来する中、持続可能な都市経営をするためには、インフラは削減が必要です。新たなインフラ整備については、必要性を含めて検討する一方で、ハード面だけでなく、人口が流入する魅力ある都市の創造を進めます。

提案 62	中田島、浜松駅及び新都田を結ぶモノレールを建設する。津波発生時の避難路としても活用する。また、新東名や天浜線との連結により発展を促す。
提案 63	LRTの導入を希望する。環境に優しく、高齢者、弱者にも乗り易い電車である。今後増加が予想される渋滞や事故も減る。パークアンドライドの活用もしてはどうか。また、電車はパンタグラフ式をやめ、太陽光パネル、燃料電池等の最新の方式で給電する方式にしてはどうか。
提案 64	30年以内に馬込川の上島から中田島の間には水上バスを設置するとともに、両岸に桜並木を増やし、創造的なまちとする。

【市の考え方】その他

基本構想、基本計画ともに集約型の都市構造への転換を目指しています。本格的な人口減少社会を迎える中、移動手段についてもカーシェアリングなど新しい考え方を取り入れながら、安全・安心・快適分野では、交通結節点の機能を高め、利便性を向上させることとしています。新交通システムの導入については、毎年策定する戦略計画などで、必要性を含めて検討してまいります。

提案 65	交通対策として、5年以内に交通量の多い道路の歩道整備を行う。
提案 66	交通対策として、5年以内に幹線道路の歩道に防護柵の設置を行う。

【市の考え方】今後の参考

基本構想では30年後の理想の姿を、基本計画では施策の方向性を提示しています。実現に向けた具体的な事業は、毎年策定する戦略計画などで明確にまいります。

環境・エネルギー

提案 67	今後高齢社会が更に進むと、犬や猫などペットの増加が予想される。それに伴い糞尿の放置をはじめとするペットによる環境の悪化も懸念される。市民のマナーの問題でもあるが、環境問題としても、ペットの増加への対応が必要と考える（ペットを飼う人への支援ではなく、ペットの被害を防止することへの支援が必要。）。
------------------	---

【市の考え方】盛り込み済

平成15年7月に「浜松市快適で良好な生活環境を確保する条例」を施行するなど、市民のマナー向上を進めています。基本計画では、「大気、騒音及び水質の環境基準を満たす取り組みを進め、市民一人ひとりが騒音や悪臭の防止に常に心がけるよう啓発します」と記述しています。

健康・福祉

提案 68	「10年後に向けて」の欄について「インクルージョンの考え方の普及に取り組み、住民が互いに支え合う地域づくりにより、高齢の人、障がいのある人などあらゆる人の活躍の場を広げます」と加筆してはどうか。
提案 69	「インクルージョンの考え方の普及に取り組み…高齢の人、障害のある人の活躍の場を広げます」について、「高齢の人、障害のある人などあらゆる人の活躍の場を広げます」と加筆してはどうか。高齢者、障害者に限定せず、難病の人、セクシャルマイノリティ、引きこもりなどの「生きづらさを抱える人」も対象に含めてはどうか。

【市の考え方】案の修正

ご指摘の表現が、より適切であると判断し、次のように修正します。

《修正内容》

（修正前）

「インクルージョンの考え方の普及に取り組み、住民が互いに支え合う地域づくりにより、高齢の人、障がいのある人の活躍の場を広げます。」

（修正後）

「インクルージョンの考え方の普及に取り組み、住民が互いに支え合う地域づくりにより、高齢の人、障がいのある人などすべての人の活躍の場を広げます。」

提案 70	基本政策の「人々の『つながり』をつくる社会の実現」について、「人と人との～」という表現が一般的ではないか。また、上記の「つながり」と「人々の『心身の健康と生活』を守る医療の実現」の「心身の健康と生活」を「 」で括る必要はないのではないかと。
------------------	--

【市の考え方】案の修正

分かりやすい表現となるよう、記述を次のように修正します。

《修正内容》

(修正前)

- ・人々の「つながり」をつくる社会の実現
- ・人々の「心身の健康と生活」を守る医療の実現

(修正後)

- ・人と人とのつながりをつくる社会の実現
- ・人々の心身の健康と生活を守る医療の実現

提案 71	障害者基本法に手話は言語であると明記されました。 手話言語法の制定に向けて全国ろうあ連盟が取り組んでいます。また、全国各地に手話言語条例が相次いで制定されています。 浜松市にも聴覚障がい者、盲ろう者へのコミュニケーションや市民に理解啓発を目的として、『「浜松市手話言語条例（仮称）」制定化を推進します。』と明記してはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】 今後の参考

手話言語法の制定については、市議会も平成 26 年 2 月定例会で手話言語法の制定を求める意見書を議決し、国へ働きかけを行っています。基本計画では施策の方向性を提示していますので、実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

提案 72	「相談支援事業所などで働く職員の質の向上」について、就労支援を行っている事業所の職員の質の向上が課題となっているので、その旨も記載してはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】 案の修正

原文の「相談支援事業所などで」を「障がい福祉サービス事業所など」に修正し、就労支援事業所も含めていることを分かりやすく記述します。

《修正内容》

(修正前)

「相談支援事業所などで働く職員の質の向上やグループホームなどの計画的な整備によってサービスを充実しつつ、関連団体と連携し、障がいのある人に対する市民の理解を深め、地域での支え合いの基礎を固めます。」

(修正後)

「障がい福祉サービス事業所などで働く職員の質の向上やグループホームなどの計画的な整備によってサービスを充実しつつ、関連団体と連携し、障がいのある人に対する市民の理解を深め、地域での支え合いの基礎を固めます。」

要望 4	ジョブコーチ・コミュニティソーシャルワーカー・アウトリーチ相談員の育成、養成も大切な政策・事業ではないのか。総合計画で明確な位置づけを要望する。
----------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

「コミュニティソーシャルワーカーの配置を拡充」、「アウトリーチの促進」など、施策に盛り込んでいます。

要望 5	医療・介護・障害などの社会福祉部門のワンストップサービス部門を新設し、超高齢化社会に対応したサービスシステムの構築を要望する。
----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

社会福祉におけるワンストップサービス部門の新設は、適正な組織体制など、行政内部の施策です。このため、地方自治・都市経営分野に、「適正な組織体制と定員管理のもと、効率的で効果的な都市経営を行います」、「全職員が常に業務改善を考え、業務の効率化を図り、市民サービスを向上します」と盛り込んでいます。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしています。

提案 73	「高齢の人、障がいのある人など、あらゆる人が地域の中で孤立することなく、多くの人に見守られながら住み慣れた地域や家庭で安心して暮らすことのできるよう、在宅サービスの充実など、環境を整備します」について、比較的元気な高齢の人や障がいのある人が地域の中で気軽に立ち寄りことのできるサロンのような環境を整え、共助や支え合いの地域づくりといった施策を記載してはどうか。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

元気な高齢の人などの共助の場については、同ページ中「元気な高齢の人の社会参加を後押しします。」などの記述に盛り込んでいます。また、ご提案の環境整備など、実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしています。

提案 74	「だれもが周囲の人のこころの不調に気付き、専門の相談機関での適切な相談を受けることができる環境を整え、自殺者の減少を図ります。」について、10年間の計画であれば、周囲だけでなく本人自身も自分のこころの不調に気付くことができる取り組みも必要ではないか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

ご指摘の、こころの不調を抱えた本人へのケアにつきましては、記述にある周囲の人への啓発に加え、現在も取り組んでいます。基本計画は、取り組みのすべてではなく、主な取り組みを記述しており、具体的な取り組みについては、毎年策定する戦略計画で明確にしています。

提案 75	年々の紫外線量の増加は、30年後までにはますます人々の健康に及ぼす影響が強まると予想される。全国トップクラスの日照時間は浜松の魅力ではあるが、市民は日光のマイナス面にも大きくさらされる。紫外線対策は、個人の健康管理の範疇にあるのはもちろんだが、行政としても考
-----------------	---

	えていく必要がある。「子育て・教育」、「安全・安心・快適」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉」の分野に絡む重要課題であると考えている。いずれかの分野に「紫外線対策」を明記してほしい。
--	--

【市の考え方】今後の参考

紫外線量の増加原因であり、オゾン層破壊の原因物質であるクロロフルオロカーボン（フロン）は、「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」、「特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律」等で、国際・国内的に生産等の規制がされており、世界規模の事業として着実に実施されています。こうした考えを批准する取り組みを進めるとともに、健康被害の予防などの個別の事業は毎年策定する戦略計画などで検討してまいります。

文化・生涯学習

要望 6	「まなぶ」という項目がないことが残念である。これを反映したのか、基本計画中分野別計画の「⑥文化・生涯学習」の内容でも、市民に対する生涯学習を提起する記述は皆無に近いものとなっている。市民協働の柱の一つである市民の生涯学習を強調する内容補強を要望する。
----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

基本計画では、「『学びの連鎖』」を進展させ、市民主体の学習活動を拡大します」、また、「地域の芸術家や文化団体の創作活動への支援や活動を活発化させる情報発信に取り組む」など、学ぶ意欲のある人への支援を記述しています。

地方自治・都市経営

提案 76	防衛省や国土交通省などの国の主要機関の誘致を積極的に行う。
-----------------	-------------------------------

【市の考え方】その他

首都機能の移転については、これまで、国においても議論されていますが、実現にまでは至っていません。道州制なども議論され、国の形が大きく変わる可能性もあり、ご提案については、国の動向を的確に捉えながら、必要性を含めて検討してまいります。

要望 7	新市庁舎の至急の建設を要望する。現況、市民は大変不便となっている。政令指定都市に相応しい庁舎が必要である。
----------------	---

【市の考え方】その他

市役所本庁組織は複数の建物に分散し、ご不便をおかけしています。本市では、今後の人口減少・超高齢社会の到来に備え、公共施設の維持管理コストを抑えるため、施設の統合、長寿命化を進めています。このため、ご要望の新市庁舎の建設については、慎重な検討が必要と考えます。

提案 77	様々な地域課題を解決に導くには、当事者として多様な環境にある人々の意見をきちんと吸い上げるシステム、そして皆で合意形成のプロセスを踏むことができるシステムの構築が必要である。既存のものの問題点を整理し、さらなる改善を進めること。
提案 78	「選択と集中による予算の重点配分」は必要なことだが、問題は「だれが」選択するのかということである。選択のプロセスの中に、市民の目線がしっかり入るようにしておくことや、男女双方の視点が必ず入るような準則も設けておくことを望む。

【市の考え方】その他

多くの人による合意形成を行うシステムの構築は、行政運営を行う上で非常に重要です。このため、パブリック・コメント制度やまちづくりトークなどの広聴活動のほか、地域の代表で構成される市議会や、地域の課題を議論する区協議会が存在し、熱心な議論を行っています。基本計画では、「協働により、市民の公共への関心、自治意識を高め、市民主体で社会的課題が解決できる環境づくりを進めます」とし、市民参加を促進します。

提案 79	多様な視点で市政運営ができるよう、障がいのある人、外国人など多様な人材の登用を進めること。
----------	---

【市の考え方】その他

市民協働を推進するためにも、多様な人材の登用・活用は重要です。地方公務員法の規定により、外国籍の人の採用には一定の規制がありますが、障がいのある人を含め、ご要望の、市政運営に多様な視点を導入について、「社会環境の変化に柔軟に対応できる職員を育成します」など、施策を記述しています。

参考 地方公務員法（抄）
（受験資格）

第十九条 競争試験は、人事委員会の定める受験の資格を有するすべての国民に対して平等の条件で公開されなければならない。試験機関に属する者その他職員は、受験を阻害し、又は受験に不当な影響を与える目的をもって特別若しくは秘密の情報を提供してはならない。

提案 80	「協働センターを核として、市民主体のまちづくりを進めます」とあるが、「政策体系」では「市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進」と抽象的な表現にまとめられてしまっている。協働センターの機能や活用法については、市民が具体的イメージを持てるように、また実際に機能するように早急に具体化していく必要があるのではないかと。今でも「市民
----------	--

	協働センター」と各「協働センター」との役割の違いが分からない、とする市民の声はたくさんある。プランのなかでも、もう少し具体的なイメージが持てるような説明的表現も要るのではないか。
--	---

【市の考え方】 今後の参考

基本計画では、施策の方向性を提示しています。ご提案の協働センターの機能や活用方法の具体化など、実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていきたいと思います。

・ 政策体系

提案 81	文化・生涯学習中、「知の拠点としての図書館機能の拡大」の拡大について、あいホール（浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター）の図書室のシステム化も含めていただきたい。全国の男女共同参画センターでも図書事業は重要な位置を占めている。あいホールでは、男女共同参画の視点を伴った、豊かな暮らし・生き方に関する図書を中心に扱っている。これにシステム化により市民の利用が増えれば、市民生活や文化の向上につながる。
------------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

基本計画では施策の方向性を提示しています。ご要望のあいホールの図書室のシステム化など、実現手段に向けた事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていきたいと思います。

区協議会とのやりとり（諮問・答申）

【諮問実施日】	中区（8月21日）、東区（8月29日）、西区（8月27日）、南区（8月20日）、北区（8月28日）、浜北区（8月21日）、天竜区（8月29日）
【答申内容】	すべての区協議会において、「適切」との答申であった。
【意見数内訳】	29件 （提案 1件、要望 28件、質問 0件）
【案に対する反映度】	案の修正 0件 今後の参考 14件 盛り込み済 5件 その他 10件

目 次

○全体（意見数 13件）	1 ページ
○浜松市総合計画基本構想 浜松市未来ビジョン（案）	
・全体（意見数 0件）	
・都市の将来像（意見数 0件）	
・1 ダースの未来（理想の姿）	
つくる【創る】（意見数 0件）	
たかめる【高める】（意見数 0件）	
いかす【活かす】（意見数 0件）	
めぐらす【巡らす】（意見数 0件）	
つなぐ【繋ぐ】（意見数 0件）	
みとめあう【認め合う】（意見数 0件）	
ささえあう【支え合う】（意見数 1件）	3 ページ
はぐくむ【育む】（意見数 0件）	
みのもる【実る】（意見数 0件）	
はたらく【働く】（意見数 0件）	
かえる【変える】（意見数 0件）	
むすぶ【結ぶ】（意見数 0件）	

○浜松市総合計画基本計画 浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（案）

・全体（意見数 1件）	4 ページ
・未来ビジョン（基本構想）を受けて（意見数 0件）	
・都市経営の考え方	
市民協働で高める地域力（意見数 0件）	
未来まで続く持続可能なまち（意見数 0件）	
未知の感動を生み出す創造都市（意見数 0件）	
想定外にも対応できる自立・自律したまち（意見数 0件）	
世界とツナグ・地域とツナグ（意見数 0件）	
・まちづくりの基本的な考え方（意見数 1件）	4 ページ
・分野別計画	
分野別計画の構成（意見数 0件）	
産業経済（意見数 2件）	4 ページ
子育て・教育（意見数 2件）	5 ページ
安全・安心・快適（意見数 3件）	5 ページ
環境・エネルギー（意見数 1件）	6 ページ
健康・福祉（意見数 1件）	6 ページ
文化・生涯学習（意見数 2件）	7 ページ
地方自治・都市経営（意見数 2件）	7 ページ
・政策体系（意見数 0件）	

○全体

要望 1	平成 17 年に 12 市町村が合併し、平成 19 年に政令指定都市になった浜松市において、市民の一体感を醸成するモチベーションを生み出す計画にしていきたい。
----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

基本構想では、都市の将来像を「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」と定めています。市政運営の中軸を担う市民の一体感の醸成は、非常に重要ですので、未来デザイン会議委員が中心となり、市民との共有を念頭に置いた計画を策定しました。

要望 2	基本構想（案）、基本計画（案）の中で、「理想の姿」という表現が使われているが、この「理想の姿」という理念を追求していく表現は疑問に思う。30 年後の浜松市未来ビジョンに向けて着実に推進していく期待感が持てる表現にするのが適当と思う。
----------------	--

【市の考え方】今後の参考

新・総合計画の策定に当たり、まず、「未来の理想の姿」を定め、それに向かって、今、何をすべきかを決定する「バックキャストिंग」という手法を用いています。現状認識・課題分析を行い、そこから政策を立案する「フォアキャストिंग」とは逆の手法を用いているため、「理想の姿」を記述しています。ご要望の「理想の姿」実現に向けた事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にまいります。

要望 3	計画が壮大で具体的なイメージが描きにくいので、計画の中で目標が数値化できるものについては、出来るだけ数値化していただきたい。
要望 4	平易や用語の使用や、具体的な施策や数値目標を示す等、市民がより理解しやすい計画の策定に努めること。

【市の考え方】その他

特定の事業評価に対し、数値目標は有効です。新・総合計画は、基本構想では 30 年後の理想の姿を、基本計画では 10 年後の目標を記述しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にまいります。また、数値目標は、今後設定をし、参考資料として記述します。

要望 5	計画の評価については、PDCA サイクルで評価し、その結果必要があれば見直すとしているが、評価をする場や、見直し方を決める場に、市民の声を反映させる会議などを設置し、その内容を市民に公表していただきたい。
----------------	--

【市の考え方】その他

政策・事業の評価や見直しの際に、多くの市民のご意見をいただく場は重要です。

このため、市民の代表である議会で審議いただいているほか、すべての政策・事業について評価を実施し、その結果について、市民からご意見を伺っています。

要望 6	今後予想される少子高齢化や産業の空洞化などによる市財政の状況を市民に説明し、現在の政策やサービスが今後は縮小されることを明記して、市民が自立し自己責任で生活設計を立てることが必要であると伝えることも必要と考える。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

人口減少・超高齢社会が到来する中、市政運営はこれまで以上に選択と集中を行う必要性が高まります。このため、基本構想では、都市の将来像を「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」と定め、市民の一人ひとりが市政運営の主役である理念を掲げています。

要望 7	計画の策定と併せて、意見の調整を図ることを大事にしていきたい。
-----------------	---------------------------------

【市の考え方】 その他

計画の策定段階では、多くの人のご意見を聞き、計画に反映させることは大変重要です。このため、新・総合計画は、136人の市民インタビューを行った上で、市民が中心となった未来デザイン会議で策定を進め、市議会とも綿密な意見交換を行うとともに、パブリック・コメントを実施し、区協議会へ諮問を行いました。

要望 8	広く情報を提供し、周知していただきたい。
要望 9	基本構想である30年後の都市の将来像について、市民が想像しやすいような情報発信に努めること。
要望 10	市が目指す将来像が市民に広く浸透するよう、計画の周知徹底に努めること。

【市の考え方】 今後の参考

ご要望のとおり、新・総合計画は市民と共有するための取り組みが大変重要です。確定後、次年度からの事業展開の参考とします。

要望 11	30年後を見据えた計画は素晴らしいが、今から30年前に計画されている事業が未だ完了していない。この現状を理解していただき、事業に取り組む優先順位を付けるなどして、実現可能な計画にしてほしい。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

政策・事業の優先順位付けは重要です。新・総合計画（案）は、基本構想が30

年、基本計画が10年という長期計画としました。このため、今後の市政運営が硬直化することのないよう、基本計画の段階では重要度・優先順位付けについては行わず、実施計画レベルの戦略計画などで社会情勢の変化を考慮しながら、明確にしてまいります。

要望 12	社会情勢の変化などにより見直し求められることを念頭に置き、短期的に検証する仕組みを構築すること。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

計画の検証は大変重要です。このため、基本計画の実現に向けた具体的な事業について毎年策定する戦略計画で明確にし、それに基づいた「政策・事業シート」を作成し、評価を行い、すべての事業についてPDCAサイクルにより管理しています。

要望 13	円滑な計画推進のため、国の施策方針と整合を図っていくこと。
-----------------	-------------------------------

【市の考え方】 今後の参考

国の方針を意識した市政運営は必要です。このため、毎年度策定する戦略計画で、国の施策とも整合を図り、事業を立案してまいります。

○浜松市総合計画基本構想 浜松市未来ビジョン（案）

・1 ダースの未来（理想の姿）

ささえあう【支え合う】

要望 14	単独高齢者世帯が増加する中で、「つながり」をキーワードに市民の誰もが安心した生活を送ることができる都市を目指してほしい。特に、「介護施設は、保育所などと併設されていて、子どもたちとの交流により、いつも笑顔が絶えません」とあるが、是非実現し、「浜松方式」として国の手本になっていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】 その他

高齢者介護施設と保育園の併設については、既に実施している施設が存在します。今後についても、毎年策定する戦略計画などで、具体的な事業を検討してまいります。

○浜松市総合計画基本計画 浜松市未来ビジョン第1次推進プラン（案）

・全体

要望 15	基本構想として30年後の理想の姿を示していることについては良いものだと思うが、10年間の基本計画については現状分析を行い、各分野の具体性のある計画を記載していただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】その他

新・総合計画の策定に当たり、まず、「未来の理想の姿」を定め、それに向かって、今、何をすべきかを決定する「バックキャストिंग」という手法を用いています。現状認識・課題分析を行い、そこから政策を立案する「フォアキャストिंग」とは逆の手法を用いているため、現状分析を記述していません。基本計画では施策の方向性を記述していますので、実現に向けた具体的な事業は、毎年策定する戦略計画などで明確にまいります。

・まちづくりの基本的な考え方

要望 16	浜北副都心構想は、将来の都市機能の分担、ネットワーク化を浜松市全体の発展につなげることを目的に策定されたものであり、新・総合計画との整合性を図る必要がある。基本計画の3「まちづくりの基本的な考え方」について、「②市街地」をよりメリハリの効いたものとするため、副都心としての位置づけを明確にしてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】その他

浜北副都心構想については個別計画で考え方、施策、事業などを示してまいります。

・分野別計画

産業経済

要望 17	現在の産業にとどまらず、若い人たちの労働環境向上のためにも新たな産業の創出を図っていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

新産業の創出は、本市の持続的な発展のため、非常に重要です。このため、「国内外の大学や企業、産業支援機関、金融機関のネットワークを構築し、新産業の創出を促進します」、「地域企業の新たな事業展開や成長産業へのチャレンジを支援します」などと記述しています。

要望 18	森林や林業は、浜松市及び天竜区の将来へ引き継ぐべき大事な資源であり、また、基幹産業である。こうしたことを踏まえて計画内容を充実してほしい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

森林は大切な資源であり、「命の源である水・水の源である山」は貴重な財産です。また、林業についても、基本構想で「『Tenryu-zai』は世界に通用するブランドとなっています」などと、その重要性を記述しています。これを基に基本計画では施策の方向性を記載しました。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

子育て・教育

要望 19	公立の学校であっても、各学校で特色のある教育を行っていただきたい。
-----------------	-----------------------------------

【市の考え方】その他

ご要望の特色ある教育については、「学校・幼稚園特色化推進事業」を既に実施しており、家庭や地域との連携より、地域や子どもの実情に応じた特色ある園・学校づくりを進めています。

提案 1	基本計画に、30年後に働く力になる子どもたちを育てていく環境を整え、活気に溢れた街になるような具体的な取り組みなどを盛り込むことで解りやすくなると思う。
----------------	--

【市の考え方】今後の参考

30年後の主役を担う子どもたちへの教育は非常に重要です。このため、「浜松市未来ビジョンの実現に向けた将来の理想の姿（30年後）」を、「地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している」と記述しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいります。

安全・安心・快適

要望 20	コンパクトシティという言葉はよく聞くが、その概念が明確でなく受け取る人によってそのイメージがまちまちであるので、浜松市の目指すコンパクトシティの概念を市民に十分説明をしていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

ご要望の本市の目指すコンパクトシティの概念については、「まちづくりの基本的な考え方」へ、方向性を提示しました。また、市民へのご説明については、浜松市新・総合計画の周知方法についてのご提案と理解し、確定後、次年度からの事業展開の参考とします。

要望 21	浜松市では、人の移動手段は自動車が多い現状であるが、人も車も安心・安全な道路の整備をしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

基本計画では「歩道や道路照明などの老朽化対策とともに、ユニバーサルデザイン化や『自転車空間』の整備を進め、道路環境の安全性の向上を図ります」と記述し、施策の方向性を提示しています。実現に向けた具体的な事業は、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいます。

要望 22	現在の公共交通機関は、浜松駅を中心とした放射線状の路線が多いが、今後さらに高齢化が進むことから、利用者のニーズを十分把握し、利用しやすい路線の整備を行っていただきたい。また、駅周辺や人が集まる場所には、駐輪場の整備もしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

基本計画では「まちづくりの基本的な考え方」で、拠点ネットワーク型都市構造を目指すとし、安全・安心・快適分野では、交通結節点の機能を強化すると記述しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいます。

環境・エネルギー

要望 23	今後も地球規模で温暖化が進むことが予想されており、現在の農作物が生育しにくい環境になると思われるので、新しい農作物なども視野に計画の策定をしていただきたい。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

新しい農作物の研究は、農業従事者からの依頼を受け、バイオセンターが行っていますが、今後の産業経済分野では、農業の担い手確保や農地の集約、6次産業化支援などの農業振興を進めることとしています。具体的な事業については、環境の変化を見て、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいます。

健康・福祉

要望 24	基本計画の分野別計画⑤「健康・福祉」のうち「人々の『心身の健康と生活』を守る医療の充実」について、「各種がん検診（肺、消火器、乳房、子宮、卵巣、前立腺等）を充実し、早期発見・早期治療を行い、人々の健康と生活を守ります」の項目を加えてほしい。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

がん検診の充実につきましては、市民の健康を守るために必要な事業です。基本構想では30年後の理想の姿を、基本計画では施策の方向性を生活習慣病の予防と重症化の予防とし、記述しています。実現に向けた具体的な事業については、毎年策定する戦略計画などで明確にしていまいます。

文化・生涯学習

要望 25	今後は、市内の文化施設においても老朽化は避けては通れない問題であるが、地域住民や利用者をはじめ市民に十分な説明を行い、理解を得るよう努めていただきたい。浜松市に根付いた文化を絶やすことのないようにしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

地域に根付いた伝統文化の継承については、基本構想「つなぐ【繋ぐ】」などでその理念を記述しました。公共インフラや文化施設などの公共建築物については、施設の長寿命化とともに、保有財産の売却などを進めることとしています。こうした場合、市民に対し十分な説明を行い、理解を得た上で進めてまいります。

要望 26	基本計画の分野別計画⑥「文化・生涯学習」の項目について、市の抱える課題に対し市民自身が考えるためにも、市のさまざまな機関を活用した、市民を育てるという意味での生涯学習を盛り込んでほしい。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

基本計画では、『学びの連鎖』を進展させ、市民主体の学習活動を拡大します、また、「地域の芸術家や文化団体の創作活動への支援や活動を活発化させる情報発信に取り組む」など、学ぶ意欲のある人への支援を記述しています。

地方自治・都市経営

要望 27	公共インフラの廃止・統合も今後必要になってくることが予想されるが、市民をはじめ関係者に対しては事前に十分な説明をして理解を得るよう努めていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

地域に根付いた伝統文化の継承については、基本構想「つなぐ【繋ぐ】」などでその理念を記述しました。公共インフラや文化施設などの公共建築物については、施設の長寿命化とともに、保有財産の売却などを進めることとしています。こうした場合、市民に対し十分な説明を行い、理解を得た上で進めてまいります。

要望 28	行政が持つ権限や意思決定などの役割分担も視野に入れ、市民などが主体となって地域の課題を解決する地域力をさらに高めるようにしていただきたい。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

市民が主体となり、地域の課題を解決することは、今後の市政運営の柱です。このため、基本構想では「都市の将来像」を「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」と定めています。